

目次

第1章 ライブラリPACKの目的と使用制限	5
1-1 ライブラリPACKの目的	6
1-2 ライブラリPACKの提供データ	6
1-3 ライブラリPACKの使用制限	7
第2章 ライブラリPACKの利用方法	8
2-1 Dropboxのセットアップ	9
2-2 ライブラリPACKの構造	12
2-3 ライブラリPACK各項目の説明	13
2-4 DropboxのライブラリPACKは読み取り専用です	15
2-5 ライブラリPACKから構成部品マスターへの取込み	15
第3章 構成部品マスターの作成方法	16
3-1 構成部品マスターの構造	17
3-2 構成部品マスターの基本操作	20
3-3 大量のデータをメンテナンスする時はExcelがお勧め	27
第4章 ライブラリPACKを使った図面の書き方	28
4-1 配線用遮断器(補助スイッチ、警報スイッチ無しの場合)	29
4-2 漏電遮断器(補助スイッチ、警報スイッチ付きの場合)	30
4-3 電磁接触器(追加補助接点ありの場合)	32
4-4 可逆式電磁接触器(複合部品:手配有無設定方式)	33
4-5 電磁開閉器(複合部品:手配有無設定方式)	36
4-6 可逆式電磁開閉器(複合部品:ユニット扱い方式)	39
4-7 一般リレー(付属品付き:ソケット)	44
4-8 ターミナルリレー(コイル4個)	46
4-9 マルチモードタイマー	47
4-10 端子台(端子配列表付き)	49
4-11 集合表示灯	51
4-12 シーケンサー(PLC)	53
4-13 インバータ	57
第5章 外形シンボルの作成方法	59
5-1 ライブラリPACKでの外形シンボル作成方法	60
5-2 詳細図と簡易図の表示切替え方法	69

第6章 R 枠シンボル、端子配列表、IO 図パターンの修正方法 70

6-1	リファレンス枠シンボルの作成方法	71
6-2	端子配列表の作成方法	75
6-3	IO 図パターンの修正方法	76

第7章 メンテナンスに便利な「DCX 構成部品データ編集ツール」 82

7-1	「構成部品データ編集ツール」の入手方法	83
7-2	「構成部品データ編集ツール」の利用方法	84
7-3	ライブラリ PACK の CSV ファイルを活用	90

第8章 付録 91

8-1	会社コード	92
8-2	CSV 形式の構成部品データフォーマット	93